

結婚の自由をすべての人に訴訟（同性婚訴訟）

#ジェンダー・セクシュアリティ

甲第 12 号証



結婚の自由をすべての人に

現在の支援総額

6,595,100円

65%

目標金額

10,000,000円

サポーター

905人

支援する

SHARE



LINE

法律上の性別が同じ人どうしは、日本では結婚できません。

2019年2月14日、札幌、東京、名古屋、大阪の各地方裁判所で提訴、9月5日には福岡地裁でも提訴しました。

さらに、2021年3月26日、東京地裁で新たに提訴しました。

本ケースは、日本初の同性婚についての集団訴訟（「結婚の自由をすべての人に」訴訟）です。

法律上の性別にかかわらず結婚できることを目指しています。

基本情報

訴訟資料

裁判

明日予定

支援者の声

既行時

【ご支援は、弁護士費用を除く訴訟のための費用に充てられます。弁護士費用にはなりません。】

【おかげさまで目標金額を達成していますが、費用がまだまだかかると思われますので、目標金額を引き上げさせてください。（2024/10/30）】

2019年2月14日の一斉提訴以来、皆様から多くのご支援をいただき、誠にありがとうございました。

本訴訟は、合計30人以上の原告と約80人の弁護士により、全国5か所の裁判所で6つの訴訟が行われるという大規模な集団訴訟であり、期日に出廷したり打ち合わせしたりする際の原告や弁護団員の交通費、訴訟書類の印刷代、通信費等、多額の費用がかかりますが、皆様のご寄付のおかげで訴訟を続けることができ、初の高裁判決となる、2024年3月14日の札幌高等裁判所の判決(北海道訴訟)では、同性どうして結婚できない現在の法律が憲法24条、14条に違反すると認められました。

現在、北海道訴訟は最高裁判所に上告しており、その他の訴訟はすべて高等裁判所に係属しています（東京一次訴訟については本日、東京高裁で違憲の判決が出ました。）。

今後全ての訴訟が上告審に進む予定です。当初の目標金額は達成しましたが、一斉提訴から5年半が経過し、北海道、愛知、関西、九州からの原告、弁護団の上京旅費など、上告審での弁護活動にかかる費用が不足する見込みであることから、目標金額を上げさせていただきました。

最高裁判所での違憲判決を目指して引き続きのご支援をお願いいたします。

【申し訳ありませんが、当方は、認定NPO法人や公益社団法人等にはあらず、ご寄付について、寄附金控除（所得控除）や寄附金特別控除（税額控除）の適用はありません】

日本初の同性婚集団訴訟（「結婚の自由をすべての人に」訴訟）

2019年2月14日、日本でも法律上の性別が同じ人どうしが結婚できるようになるために、札幌、東京、名古屋、大阪の各地方裁判所で、一斉に提訴しました。

2019年9月5日には、福岡地方裁判所にも提訴しており、全国5か所で訴訟中です。

また、2021年3月26日、東京地方裁判所に新たに提訴（第2次東京訴訟）しており、全国5か所で6つの訴訟が進行中です。

なぜ同性婚を求めるのか

「愛し合っていれば、結婚できなくてもいいのではないか」と思われる方もいるかもしれませんが、しかし、法律上の性別が同じ人どうしは、日本では結婚できず、法律上認められないことがたくさんあります。

例えば、遺言をしておかなければ一緒にいた時間がどんなに長くても財産を相続することは一切できません。2人で子どもを育てていても、2人ともが親権者になることはできません。外国人のパートナーがいる場合、男女であれば結婚して配偶者として日本にいる資格を得られますが、同性だと配偶者として日本にいる資格を得られません。

また、男女であれば、法的には結婚していなくても事実婚として保護されることがあります。遺族年金の受給は法律で保障されていることが明文化されていますし、遺族としての慰謝料請求ができるなど法解釈での保護もあります。

しかし、同性の場合は事実婚として保護されるかが定かではなく、同性パートナーを殺され犯罪被害者遺族給付金を認められなかった方が裁判をしてもいます。

他にも、医療に関する困りごとがあります。法的な家族でないという法的な制限はなく病院さえ対応してくれるらばいいだけなのですが、法的な家族でないためパートナーの病状説明を受けられない、面会ができない、医療行為の同意ができないということも起こっています。

さらに、同性カップルの結婚が認められないことは、二人が社会的にいつまでも認知されないことを意味します。「結婚すら認められない関係性」ということで劣ったものと印象付けられることにもなりかねません。「同性同士の関係性は未来がないから」という理由で、別れた同性カップルも、残念ながら、少なくないはず。

国に賠償を請求していますが、お金が目的ではありません

この訴訟では「国会がいつまでも"同性カップルが結婚ができるための法律"をつくらないのは、憲法上の人権を侵害し、違法だから国は賠償すべき」として、国に対し、原告1人当たり100万円を賠償金として請求しています。形の上では「100万円支払え」と国に賠償金を求めています、お金が欲しくて訴訟をしているわけではありません。

日本の裁判所では法律等が憲法に違反するかどうかの判断のみを求めることができないため賠償金の支払いを求めているだけで、真に求めているのは、法律上の同性どうしでも結婚できるようにすることです。

訴訟弁護団

弁護団（結婚の自由をすべての人に訴訟弁護団）は全国各地の80名以上の弁護士からなります。

ご支援の使い途

ご支援は、弁護士費用を除く訴訟の費用（印紙代、コピー代、交通費、意見書依頼費等）にあてます。

なお、結婚の自由をすべての人に訴訟弁護団では、2019年2月14日の一斉提訴後にも2019年2月14日の訴訟と同じ形式での提訴を検討しており、2019年9月5日に福岡地方裁判所で提訴いたしました。2021年3月26日には、東京地方裁判所で第2次提訴もしました。今回いただいたご支援は、2019年2月14日の一斉提訴後の後続の訴訟の費用にも使わせていただきます。

日本でも、法律上の性別が同じ人どうしが結婚することを選択できるようになり、結婚をする、しないの自由を法律上の性別が異なる人以外も持てるように、結婚の自由をすべての人に訴訟のご支援をよろしくお願いたします。

[Twitter 「結婚の自由をすべての人に」訴訟 訴訟進捗・資料のCALL4掲載情報お知らせ用](#)

[Twitter 「結婚の自由をすべての人に」訴訟・東京弁護団](#)

[Twitter 「結婚の自由をすべての人に」訴訟九州弁護団](#)

👉 支援する



森あい

「結婚の自由をすべての人に」訴訟・弁護団員
当サイトの同訴訟についてのクラウドファンディング呼びかけ人

なお、現在、各弁護団が、書面の掲載、期日報告、お知らせの掲載を行っており、呼びかけ人が集約して掲載することは、2022年8月18日以降は行っていません。

「結婚の自由をすべての人に」訴訟・弁護団員(2024.11.5時点。五十音順)

■北海道弁護団 8名

【札幌弁護士会】上田文雄 加藤丈晴 須田布美子 高橋友佑 綱森史泰 林拓哉 皆川洋美 本橋優子

■東京弁護団 36名（うち1名は愛知弁護団にも所属）

【東京弁護士会】安藤光里 上杉崇子 榎本一久 金子美晴 熊澤美帆 樋田早紀 佐藤真依子 清水皓貴 寺原真希子 中川重徳 永田真衣子 永野靖 半田虎生 北條友里 志 増井俊輔 瀧田紘子 山下敏雅 油原麻帆

【第一東京弁護士会】井上皓子 宇治野壮歩 小谷磨衣 西村夏奈

【第二東京弁護士会】加藤慶二 佐藤樹 沢崎敦一 鈴木創大 仲村渠桃 藤井啓輔 三浦徹也 向井香織 横山佳枝

【千葉県弁護士会】喜田康之 南川麻由子

【神奈川県弁護士会】大崎茉莉 齋藤信子

【愛知県弁護士会】水谷陽子

■愛知弁護団 5名

【愛知県弁護士会】砂原薫 堀江哲史 水谷陽子 矢崎暁子 山田麻登

■関西弁護団 7名

【大阪弁護士会】大畑泰次郎 寺野朱美 宮本麻弘 三輪晃義 森本智子 山岸克巳

【香川県弁護士会】佐藤倫子

■九州弁護士団 24名

【福岡県弁護士会】安孫子徳嗣 石井謙一 石田光史 井上敦史 岩橋愛佳 太田千逢 太田信人 緒方枝里 久保井摂 後藤富和 武寛兼 寺井研一郎 徳原聖向 富永悠太 仲地彩子 埜愛恵 吉野大輔 渡邊陽

【熊本県弁護士会】藤井祥子 藤木美才 森あい

【山口県弁護士会】鈴木朋絵

【鹿児島県弁護士会】永里佐和子

【釧路弁護士会】郷田真樹

関連ストーリー



“この国の婚姻制度を変え、当たり前風景を変えたい”

婚姻の平等を求める福田理恵さん、藤井美由紀さんのストーリー

2024.9.24



“ 自分のアイデンティティに自信を持って、愛する人と生きていく ”

同性婚訴訟と坂田麻智さん、テレサ・スティーガーさんのストーリー

2020. 4. 28



“ この時代を生きる私たちすべての問題として、声をあげる ”

同性婚訴訟とまさひろさん・こうすけさんのストーリー

2019. 12. 31



“ 25年を経た今踏み出す、同性カップルの大きな挑戦 ”

大江千東さん・小川葉子さんカップルと同性婚訴訟のストーリー

2019. 8. 1

関連コラム

2022. 10. 27



<インターン生企画> 同性カップルの婚姻をめぐる現状と今後の道筋

[Interview] 曾我部真裕（憲法学者）

2021. 8. 25



私たちは声をあげる

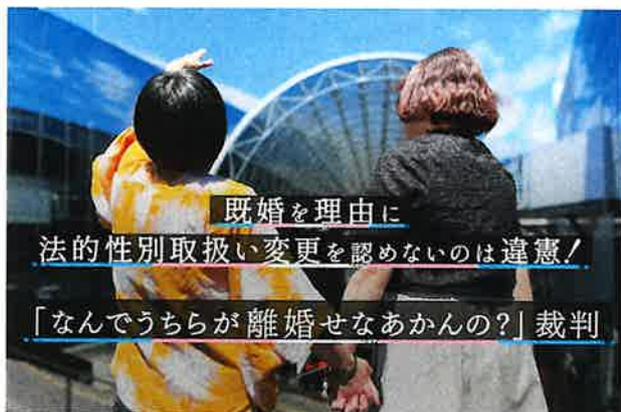
マンガで公共訴訟(4)

2021. 3. 2



同性婚訴訟をきっかけに考える、“わたしたち”の結婚制度
CALL4 1周年イベントレポート Vol.3

あなたにおすすめのケース



寄付募集中
既婚を理由に法的性別取扱い変更を認めないのは違憲！「なんでうちらが離婚せなあかんの？」裁判

コミュニティ・セクシュアリティ

9%
¥ 271,500円 20人



寄付募集中
「わたしの体は母体じゃない」訴訟

コミュニティ・セクシュアリティ

21%
¥ 638,500円 87人



寄付募集中
夫婦別姓も選べる社会へ！訴訟

コミュニティ・セクシュアリティ

103%
¥ 5,150,690円 338人



寄付募集中
「共働き妻を亡くした夫にも遺族年金を」訴訟

コミュニティ・セクシュアリティ

42%
¥ 422,500円 22人

- 外国にルーツを持つ人々
- ジェンダー・セクシュアリティ
- 医療・福祉・障がい
- 働き方
- 刑事司法
- 公正な手続
- 情報公開
- 政治参加・表現の自由
- 環境・災害
- 注視
- 個人情報・プライバシー
- アーカイブ
- 全てのケース

WHAT?



公共訴訟
って何？

WHY?



なぜ寄付が
必要？

HOW?



どうやって
関われる？

SPECIAL COLUMN

知っておきたい！

“公共訴訟”のキホン

THE BASICS OF PUBLIC INTEREST LITIGATION

CALL4 is calling for YOUR support!

CALL4の活動を 寄付で支える

公共訴訟を盛り上げる基盤をつくる

マンスリーサポーター募集中












お問い合わせ

原告の方、弁護士の方、支援を考えている方など、どなたでもお気軽にお問い合わせください。

[メールを送る >](#)

CALL4

[> ケースを知る](#)

[> ストーリーを読む](#)

[> コラムを読む](#)

[> 期日カレンダー](#)

[> 裁判アーカイブ](#)

[> 掲示板](#)

[> Q&A](#)

[> お知らせ](#)

[> 訴訟掲載希望の方へ](#)

[> CALL4について](#)

[運営組織](#)

[利用規約](#)

[プライバシーポリシー](#)

[アクセシビリティ](#)

[特定個人情報の表示](#)

[CALL4に寄付する](#)

[公共訴訟のキホン](#)

[お問い合わせ](#)



FOLLOW US! 最新情報やムービー配信中

Copyright ©2019 CALL4 All Rights Reserved.

TOP